

広報ひらつか

—号 外—

昭和50年 3月31日／神奈川県平塚市役所発行／編集・企画部広報課／浅間町9番1号
電話(22)1700—代表
毎月15日／74,000部／全世帯配布(1部5円)／昭和31年10月3日 第三種郵便物認可 郵便番号254



推進される福祉行政

深めたい心のふれあい

「老いは誰しも必然的に迎えるものです。病は不意に襲ってきます。また、事故、はいつどこで起きるかわかりません。そして、そのようなことから、心身が不自由になった人たちのために、福祉行政の推進の必要性が全国的に叫ばれています。」

このようとき、わが平塚市では福祉会館が完成し、四月二日に開館の運びとなりました。この会館は、お年寄りや心身障害者のかたがたの待望久しかったもので、平塚郵便局の西側の奥まったところに、白いスマートな姿を見せています。

会館の敷地は約四、五二八平方メートル、建物は鉄筋コンクリート造り、地下二階地上三階建て、延面積は二、八二五平方メートルで、総工費は約四億四千七百円を要しました。

この会館では、お年寄りや障害者のための生活や健康などの各種相談や指導、機能回復訓練、教養の向上やレクリエーションなどの事業が行われ、お年寄りや障害者のかたがたの憩いの場として活用されます。そして身体障害者の自立更生を図るため、簡易作業による授産、生産指導、内職指導やあつせん、ボランティア活動の助成事業なども行われます。

また会館は、一般の建物とは違って利用者のための特殊な設備が設けられています。たとえば、視力障害者のための支関やエレベーターの誘導チャイム、点字による各室の標示板、浴室やトイレの非常用ボタン、事故防止のためのモニターテレビカメラなど、そのほかにもいろいろと特殊な設備が配慮されています。そして屋上には、サングラスやミニゴルフ場、身体障害児が楽しく遊べる電動ペーパードレスなど、全国的にも珍しい設備があります。また会館前の広場は全面芝が張られ、障害者が自由に明るく遊べる広場が造られました。

このように、他市に誇れる福祉会館の誕生は、それを利用するお年寄りや心身障害者ばかりでなく、一般の市民にとってもまことに喜ばしいことです。そしてこの福祉会館が一つの拠点となって、平塚市の福祉行政がますます進展することを願うとともに、この会館建設を機会として、私たちは、お年寄りや心身障害者への「思いやり」と「ふれあい」をより一層深め、その立場を今まで以上に理解するための努力をしなければならぬと思います。

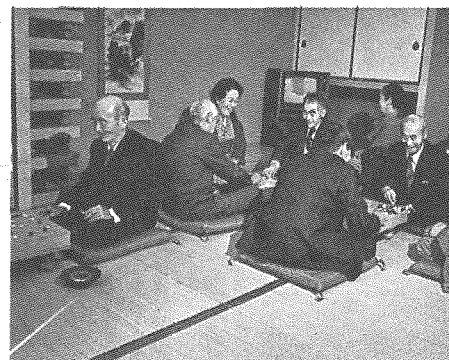
【写真】福祉会館屋上のミニゴルフ場

望の福祉会館完成

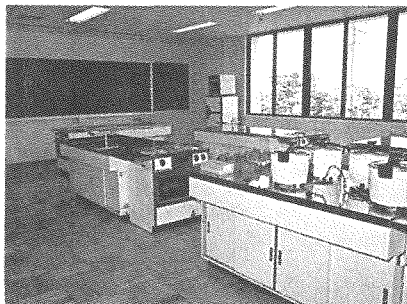
みんなできずこう「福祉のまち」ひらつか



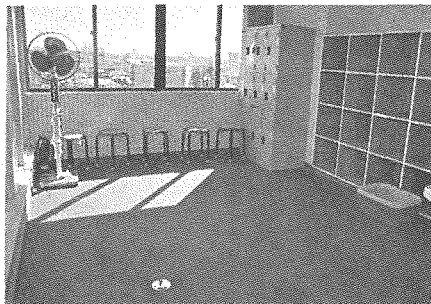
85畳敷きの大広間。放送設備も完備したりっぱな舞台もあって、お年寄りが日ごろきたえたご自慢の“おどり”や民謡を披露するには、かっこうの場です。座いすにもたれて、ごゆっくりお過ごしください。



お年寄りは、囲碁や将棋が好きです。畳の香りも新しい娛樂室で“いちばん”が始まります。駒を差す手も心なしに弾んで見えます。



料理をつくる楽しみ、これを身障者の方にも味わっていただきたい。手が不自由でも、水を出しガスを使えるよう配慮されています。

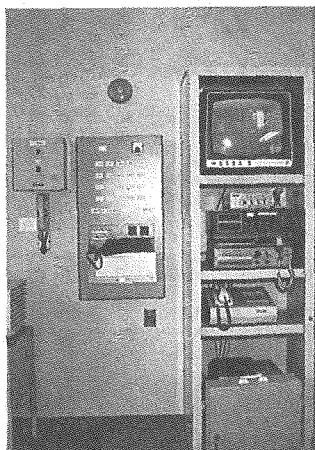
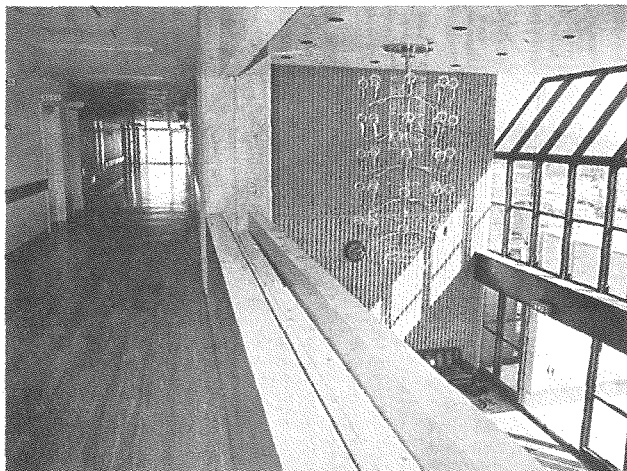


清潔な浴室でひと風呂あびてゆったりすると、日ごろのからだの疲れがとれますが、心も和みます。(脱衣場)



ふだん使わない筋肉を動かすことが健康の原則です。老人の機能訓練は、その意味で大きな効果を上げるでしょう。

十分に幅のとれた廊下。これは車イスのすれ違いを考慮してつくられたものです。また廊下には手すりがあり、各室の入口には点字標示板が取り付けられています。なお玄関ホールは2階部分まで吹き抜けで、広々とした感じとなっています。



事故防止のため、各階の廊下にモニターテレビカメラを備え付け、また便所などには、気持ち悪くなったときの非常用ボタンがあります。これらはすべて事務室にいて、一目でわかるようになっています。

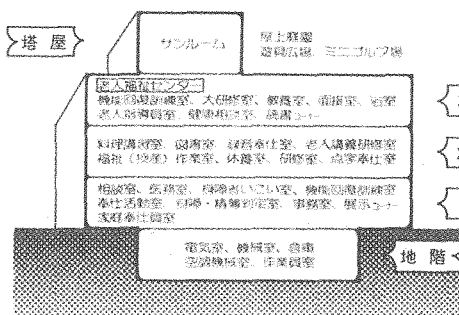


エレベーターは車イスの利用を考慮して、大型のものが使われ、停止中はチャイムが鳴ります。

待

福祉会館の全景。平塚市は総合開発計画のなかで、前々から総合福祉センターの建設が考えられていました。そしてようやく昨年1月に建設工事がはじまり、このほど見事に完成して「平塚市福祉会館」と名付けられました。この会館は、老人や心身障害者の福祉と生活の向上を図るため、またボランティア活動の拠点とするため利用されます。そして、これからの平塚市の福祉の殿堂として、大いにその機能を発揮することでしょう。

会館のご案内



福祉会館のご利用は

福祉会館の各施設設備を利用される方は、あらかじめ会館事務室にお申し込みください。一般の方が見学される場合も同様です。

なお、使用料は無料です。

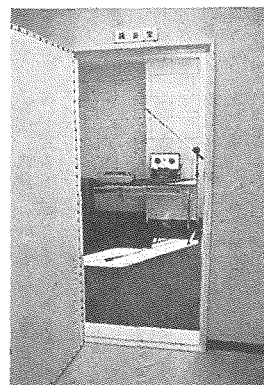
所在地 平塚市追分1番43号
電話 平塚(0463)33-2333
利用時間 午前9時～午後4時
休館日 毎週日曜日、祝祭日

施設利用の申込みは早めに

- ◆老人福祉センター（定員100名）
- ①利用できる日は月曜日から金曜日までです。
- ②利用できる方は、60歳以上の方およびその同伴者に限られます。
- ③団体（老人クラブ）で利用される場合は、利用日の前月の15日までに申し込みください。ただし4月については、7日から申し込みを受け、15日からの利用となります。
- ④個人でも利用できますが、定員をこえるときはおことわりすることがあります。
- ⑤入浴時間は、午前10時から午後3時までです。
- ◆身体障害者等その他の施設
- ①利用できる方は、心身障害者およびその家族と、福祉団体関係者に限られます。
- ②利用される方は、利用日の1週間前までにお申し込みください。



喫茶店のふんい気、それが読書コーナーです。お年寄りの方が本を見ながら自分たちの日常を楽しく語り合う、明るいコーナーです。



録音奉仕室。ここではボランティアの方が、視力障害者の教養向上の一翼をになうため、いろいろな本や刊行物をテープに朗読録音します。ボランティアはこのほか点字奉仕室、図書室などで奉仕活動を行います。



252